

「うずしおまつり」が4月20日、うずしおドームなないろ館で開かれました。同まつりは、約30年前から淡路島の観光シーズン到来を告げるため、また船の航行安全を祈願しようと観光協会が主催し、行われています。式典では、神事に続いて第32代クイーン淡路のお披露目、淡路人形座による戎舞が上演されました。

その後、観潮船の前でテープカットを行い、観客とともに日本丸に乗り、鳴門海峡へ出航。航行中、関係者らは酒樽を海に流



▲海に酒樽を流すクイーン淡路



▲テープカットを行う関係者たち



▲鯛の稚魚を放流する参加者

し海の神へ安全祈願を行い、鯛の稚魚を放流し豊漁を祈りました。

鳴門海峡周辺では、大きなうず潮が発生すると観客らは歓声を上げ見入っていました。参加した観光客は「春のうず潮は見ごたえがある。淡路では観光や食を満喫したい」と笑顔で話していました。

国立公園慶野松原で3月27日、慶野松原を美しくする会により200本の黒松が植樹されました。

慶野松原を美しくする会は、慶野地区の住民によって結成されており、慶野松原の自然を美しく保全することを目的として活動しています。年間を通して松葉掻きを始め、雑草の刈り取り、海岸線における漂着物の回収を行い慶野松

慶野松原へ松木を植樹

慶野松原を美しくする会

原の自然を守っています。毎年松くい虫の被害による松枯れのため松木が減少している中、今年も松苗の植樹を実施し、松原の保全、さらには市民への啓発へとつなげるために活動しています。

松木の植樹事業などについて、詳しくは事務局である商工観光課までお問い合わせ下さい。

商工観光課 ☎ 37・3012



▲松木の植樹を行う会員たち

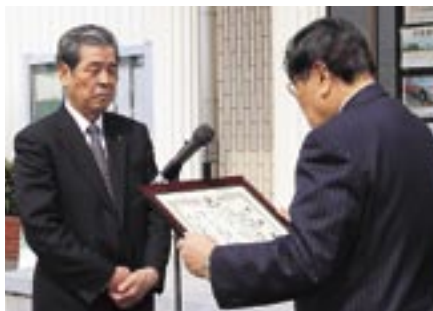


▲淡路信用金庫からの寄附金を受けて購入した消防指揮車

淡路信用金庫（瀧川好美理事長）から、昨年9月の台風15号の直後「災害時の対応に役立てて頂きたい」と寄贈を受けた寄附金300万円を活用して、市では消防指揮車を購入しました。

3月30日、中央庁舎で納車式が行われ、同金庫の嶋田武司専務理事から中田市長へ目録が手渡され、市から感謝状を贈呈しました。

購入した車は、朱色の緊急自動車の指定を受け、赤色警光灯やサイレンを備えており、防災力強化をめざす市消



▲市から感謝状を贈呈しました

防団の迅速な対応と指揮命令を図るための消防指揮車として、災害時はもちろん平時には防火啓発にも活用していきます。

消防指揮車を配備

淡路信用金庫からの災害特定寄附金を活用

島開きうずしおまつり



▲うず潮と大鳴門橋

世界の奇観「うず潮」の世界遺産への登録を目指そうと、島内3市らが主催する「国生みフォーラムin淡路島」が3月20日、南淡公民館で開催されました。

淡路島では世界遺産登録に向けて、第一弾となる催しで（鳴門市では昨年開催）島内外から参加した約300人が熱心に聞き入りました。



▲前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎さんが基調講演



▲フォーラム会場で握手をする（左から）中田勝久 南あわじ市長、松浦 晃一郎さん、泉 理彦 鳴門市市長の3人

◆基調講演では、前ユネスコ事務局長の松浦晃一郎さんが、世界遺産の認定に深く関わってこられた経験をもとに、登録に向けてのアドバイスや課題について講演しました。

松浦さんは、実際に観潮船から確認したうず潮の感想を「大鳴門橋とうず潮のコラボレーションが素晴らしい」と話し、世界遺産には大きく分類して文化遺産と自然遺産があり、うず潮は自然遺産として登録を目指すべきだと述べた。

さらに、2年3年で成果が出ないからとあきらめるのではなく、息の長い取り組みが必要であると話しました。

◆パネルディスカッションでは、中田市長をはじめ淡路島と鳴門市の両岸関係者がパネルとなり、世界遺産への地元の熱い思いや、うず潮の魅力を活かす、最後に、登録に向けて一致団結して歩んでいくスタート・決起日とすることを確認し合って、会場からも大きな拍手を受けました。



▲コーディネーター：公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 専務理事 小宮 浩さん



▲パネラー：（左から）中田勝久 南あわじ市長、鳴門市 米里栄之 経済局長、淡路島観光協会 木下紘一 会長、鳴門工業高等学校 林 博章 教諭



▲フォーラム会場では約300人の参加者が熱心に聞き入った

◆うず潮を世界遺産に！

◆古事記編纂1300年の今年、鳴門海峡「うず潮」を世界遺産に登録しようという動きが、今、大きく渦巻こうとしています。

鳴門海峡・淡路島・沼島を基点とする地域は「古事記」にも記される「国生み神話」が色濃く残る地域です。

イザナギ・イザナミの国生み神話も「うず潮」がモチーフであるという説もあり、日本創生の原点ともいえるべき風景がそこには広がっています。

◆自然と宇宙が演出するダイナミックな「うず潮」

鳴門のうず潮が発生するのは、太陽や月の引力による潮の干満と、鳴門海峡の速い潮流に加えて、海底の地形といった条件がそろっているためといわれています。

◆うずの大きさは世界一、潮流の速さは世界3番目

鳴門海峡のうず潮は「世界3大潮流」の一つといわれ、潮流の速さは世界で3番目（時速約20km）、うずの大きさは、なんと世界一になります。（最大時の直径が約30m）